

記者発表(発表・資料配布)				
月／日	事務所等名	電話	発表者(担当者)	その他の配布先
7月25日 (火)	北播磨県民局 県民交流室	0795-42-9080	県民交流室長 高崎 和則 (班長 伊藤 明洋)	

JR 加古川線（西脇市－谷川間）維持・利用促進イベントの実施

JR 加古川線（西脇市-谷川間）を維持・活性化するための利用促進策として、以下のイベントを開催しますのでお知らせします。

記

- 1 イベント1 ～ローカル鉄道の魅力を撮影～
鉄道写真家 中井精也が教える「鉄道写真を楽しむ方法」講演会
- 2 イベント2 ～さあ、加古川線（カコセン）を愛そう～
JR加古川線（西脇市～谷川駅間）フォトコンテスト作品募集
- 3 事業主体 JR加古川線維持・利用促進検討連絡会議（事務局：西脇市・丹波市）
- 4 内 容 別紙「西脇市記者発表資料」のとおり



(令和5年7月24日発表)

西脇市記者発表資料			
担当部課名	所属長	担当者	電話番号
都市経営部 まちづくり課	藤原 広三	和田 裕行 藤井 亜美	0795-22-3111 (内線3033)

事業名・イベント名
～ローカル鉄道の魅力を撮影～ 鉄道写真家 中井精也が教える「鉄道写真を楽しむ方法」講演会
実施日・期間等
令和5年8月6日(日曜日) 午後2時～4時(午後1時30分開場)
実施場所
西脇市茜が丘複合施設みらいえ 多目的ホール (所在地:西脇市野村町茜が丘16番地の1)
趣旨・目的
西脇市と丹波市は、JR加古川線(西脇市駅～谷川駅間)沿線市として、同線の利用促進に取り組んでいます。 令和5年8月1日から開始する「JR加古川線フォトコンテスト」の開催に合わせて、プロの鉄道写真家・中井精也さんをお招きし、鉄道写真撮影の魅力についてお話いただく講演会を開催します。
内容・セールスポイント
【講演会概要】 と き：令和5年8月6日(日曜日) 午後2時～4時 (午後1時30分開場) と ころ：西脇市茜が丘複合施設みらいえ 多目的ホール 定 員：100人 講 師：鉄道写真家 中井精也(なかいせいや) 演 題：「鉄道写真を楽しむ方法」 参加費：入場無料/申し込み不要 主 催：JR加古川線維持・利用促進検討連絡会議 その他：講演会終了後、講師のサイン会・撮影会を開催予定
【講師：中井精也 プロフィール】 昭和42年、東京生まれ。鉄道の車両だけにこだわらず、鉄道に関わる全てのものを被写体として独自の視点で鉄道を撮影し、毎日、その日に撮影した鉄道写真をブログで公開する「1日1鉄!」や、鉄道で感じる旅情やゆる～い雰囲気 작품을にした「ゆる鉄」など新しい鉄道

写真のジャンルを生み出した。平成16年春から始めた「1日1鉄！」は、令和6年で20周年を迎える。

また、令和3年9月から日本全国を回りながら自らの作品を販売するギャラリー&ショップ「ゆる鉄画廊NOMAD」を展開。広告雑誌のほか、講演やテレビ出演など幅広く活動している。株式会社フォート・ナカイ代表。平成27年、講談社出版文化賞・写真賞、日本写真協会賞新人賞受賞。著書・写真集に「ミラーレスカメラと写真の教科書」（インプレス・ジャパン）、「カメラは魔法の小箱です」（玄光社）などがある。

○テレビレギュラー

- ・「中井精也の絶景！てつたび」／NHK BSプレミアム
- ・中井精也の「にっぽん鉄道写真の旅」／BS-TBS

【参考／JR加古川線フォトコンテスト】

令和5年8月1日（火曜日）～12月28日（木曜日）を募集期間とするフォトコンテスト。被写体はJR加古川線（西脇市駅～谷川駅）の車両や駅、車窓風景等の鉄道に関連するものです。主催は同じくJR加古川線維持・利用促進検討連絡会議（令和5年7月24日付け記者発表資料のとおり）。

【参考／JR加古川線維持・利用促進検討連絡会議】

令和5年1月に、西脇市まちづくり課及び丹波市ふるさと定住促進課を事務局として設立。令和4年4月に、JRが赤字路線として収支を公表したJR加古川線（西脇市駅～谷川駅間）の利用促進のため、事業実施・情報交換を行っています。

【添付資料】

- ・講演会チラシ

～講演会開催のご案内～

<講師> なかい せいや
鉄道写真家 **中井精也さん**

鉄道写真を 楽しむ方法

講師プロフィール

1967年、東京生まれ。車両だけにこだわらず独自の視点で鉄道を撮影し、「1日1鉄!」「ゆる鉄」など新しい鉄道写真のジャンルを生み出した。日本全国を回りながら自らの作品を販売するギャラリー&ショップ「ゆる鉄画廊NOMAD」を展開中。「中井精也の絶景!てつたび」/NHK BSプレミアムなどに出演中。



鉄道写真撮影のポイント・コツ・構図の作り方などをプロの鉄道写真家が教えます！
身近なローカル鉄道の情緒ある一瞬を切り撮る方法を学んでみませんか。

2023. **8.6** (日) 午後2時～4時 (午後1時30分開場)

会場: 西脇市茜が丘複合施設みらいえ多目的ホール
(兵庫県西脇市野村町茜が丘16番地の1)

定員: **100人** (申込不要)

主催・問合せ: JR加古川線維持・利用促進検討連絡会議

(事務局: 西脇市まちづくり課・丹波市ふるさと定住促進課内)

☎0795-22-3111(内線3033) / メール machi@city.nishiwaki.lg.jp





(令和5年7月24日発表)

西脇市記者発表資料			
担当部課名	所属長	担当者	電話番号
都市経営部 まちづくり課	藤原 広三	和田 裕行 藤井 亜美	0795-22-3111 (内線3033)

事業名・イベント名
～さあ、加古川線（カコセン）を愛そう～ J R加古川線（西脇市駅～谷川駅間）フォトコンテスト 作品募集
実施日・期間等
【募集期間】令和5年8月1日（火曜日）～12月28日（木曜日）
実施場所
—
趣旨・目的
西脇市と丹波市は、J R加古川線（西脇市駅～谷川駅間）沿線市として鉄道の利用促進に取り組んでいます。 J R加古川線（西脇市駅～谷川駅間）の魅力の再発見・発信を目的に、鉄道車両や駅、車窓風景を被写体としたフォトコンテストを開催します。
内容・セールスポイント
【フォトコンテスト概要】 募集期間：令和5年8月1日（火曜日）～12月28日（木曜日） 応募資格：誰でも参加可。未成年は保護者の同意が必要 テーマ：J R加古川線（西脇市駅～谷川駅間）の魅力を伝える写真作品 応募点数：1人5点まで 応募方法： <u>＜インスタグラム＞</u> ①主催者のインスタグラム公式アカウント（@jr_kakosen_love）をフォロー②「#加古川線を愛そうフォトコン」をつけて、キャプションに写真のタイトルと撮影場所を入力し投稿（1投稿につき1枚の写真） <u>＜メール＞</u> メールに氏名、住所、電話番号、写真のタイトル、撮影場所を入力し、事務局アドレス（machi@city.nishiwaki.lg.jp）宛に写真データ（10MB以下）を送信

入 賞：特別賞2点、優秀賞2点、佳作3点
（入賞者には西脇市・丹波市の特産品セットを贈呈）
主 催：JR加古川線維持・利用促進検討連絡会議
そ の 他：入賞作品は利用促進のための広報活動等に必要な範囲
で、ホームページ等で利用します。

【主な応募要項】

- ・作品はオリジナル、未発表のものに限ります。ただし、応募者本人の制作によるホームページやSNS等に掲載した作品は応募可能です。
 - ・作品は応募者本人が著作権を有しているものに限ります。
 - ・撮影時期はおおむね5年以内とします。
 - ・合成や著しいデジタル加工は審査の対象外となります。
- ※その他の応募要項は西脇市ホームページに掲載しています。

【参考／JR加古川線維持・利用促進検討連絡会議】

令和5年1月に、西脇市まちづくり課及び丹波市ふるさと定住促進課を事務局として設立。令和4年4月に、JRが赤字路線として収支を公表したJR加古川線（西脇市駅～谷川駅間）の利用促進のため、事業実施・情報交換を行っています。

フォトコンテストの期間中である8月6日（日曜日）には、鉄道写真家・中井精也さんを講師とする「鉄道写真を楽しむ方法」講演会を開催し、参加者にフォトコンテストの開催を周知します（令和5年7月24日付け記者発表資料のとおり）。

【添付資料】

- ・フォトコンテストチラシ

さあ、
カコセン
加古川線を
愛そう



JR加古川線フォトコンテスト

(西脇市駅～谷川駅間)

応募資格

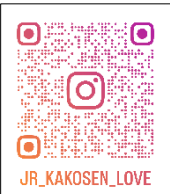
どなたでも応募可能。一人5点まで。詳しくはホームページの応募要項をご覧ください。

テーマ

JR加古川線(西脇市駅～谷川駅間)の魅力を伝える写真作品

応募方法

1. 主催者のInstagram公式アカウント (@jr_kakosen_love) をフォロー
2. #加古川線を愛そうフォトコンをつけて、キャプションに写真のタイトルと撮影場所を入力し投稿(1投稿につき1枚の写真)



募集期間

令和5年8月1日(火)～12月28日(木)

入賞

特別賞2点 優秀賞2点 佳作3点
(西脇市・丹波市の特産品を贈呈)

あなたが知ってるカコセンの魅力を教えて!



※メールでの応募を希望される方は下記へお問い合わせください。

詳しくはホームページをチェック! 📱📱📱

主催 JR加古川線維持・利用促進検討連絡会議
(事務局:西脇市まちづくり課・丹波市ふるさと定住促進課内)
☎ 0795-22-3111(内線3033) ✉ machi@city.nishiwaki.lg.jp

